

事業評価個票（事業実施：令和7年度）

(様式 1)

事業名	山形の山魅力満点（マウンテン）プロジェクト事業費			開始/終了(予定)年度		令和7 / 令和9		活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
部局・担当課名	環境エネルギー部みどり自然課								①計画検討会議開催回数	活動実績	回						
総合発展計画実施 計画の位置付け	政策の柱、 政策	[政策の柱5]未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用 [政策3]地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり					当初見込み			回	5	5	1				
	施策	[施策1]自然環境や文化資産の保全・活用・継承					活動実績			回							
	目標指標	山岳観光地観光者数			R11年度746千人		当初見込み			回	2	2	2				
事業の目的	山形県の魅力そのものである「山」のさらなる魅力向上・発信による利用（誘客）拡大、自然環境（観光資源）の保全を両輪とし一体的に事業を展開し、山がもたらす多彩な自然を活かした持続可能な経済活動の推進と交流人口・関係人口の拡大、地域活性化を目指す。							③デジタルスタンプラリー開催回数	活動実績	回							
事業概要 (令和7年度の 実施内容)	①オオシラビソ林の再生活動拡大に向けた計画づくり 【概要】 県民の宝である樹木の復活に向け、樹木を形成するオオシラビソ林再生に向けた計画づくりや蔵王での移植活動等を実施。 ②ふるさと納税の募集と活用 【概要】 ふるさと納税を活用し、蔵王の現状や樹木復活の取組みを広く周知しながら、樹木復活の取組みへ充当する寄附を募集する。 【募集時期（予定）】7～9月、11・12月 ③デジタル技術活用等による「やまがた百名山」の魅力発信及び安全安心な登山の実現 【概要】 ・やまがた百名山や周辺観光地の周遊促進を図るデジタルスタンプラリーを開催 ・GPS等登山者の行動データ分析による山岳遭難防止への活用 ④山岳環境保全体験ツアーの開催 【概要】 学生を含む登山者と山岳環境保全団体とつなぐ機会を創出し、山岳環境保全の維持を図りながら関係人口の拡大を目指す体験ツアーを開催								当初見込み	回	1	1	1				
									④山岳環境保全体験ツアー開催回数	活動実績	回						
										当初見込み	回	1	3	4			
								実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他 (								

事業所管部局による評価・検証（令和 年 月）

項目		評価 (ABC)	評価に関する説明		
事業の 必要性	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。 また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。			課題	
	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。				
事業の 効率性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 また、類似事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。			今後の対応	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。 また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。				
事業の 有効性 (達成度)	活動実績は見込みに見合ったものであるか。 また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。			今後の対応	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				

(評価基準)「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」